

休眠預金活用イノベーション事業

誰もが活躍できる信州「働き」「学び」「暮らし」づくり事業

内定事業の概要

事業期間: 2022年度～2024年度の3年間

長野県休眠預金等活用コンソーシアム

公益財団法人長野県みらい基金

一般社団法人長野県経営者協会

一般社団法人長野県労働者福祉協議会

(協力団体) 公益社団法人日本青年会議所北陸信越地区長野ブロック協議会

1 やさしなのパーソナルステーション事業

コンソーシアム名: やさしなのパーソナルステーション事業 (幹事団体: 特定非営利活動法人長野県PS・ふくしネットセンターやさしなの)

事業概要

[対象地域] 県内全域
 [事業の概要] ベトナム人を中心とする外国人を対象に職業紹介を行うとともに、くらし全般の相談に応じる「パーソナルステーション」を設置する。

- 特定技能生の受入れ
 職業紹介所の設立、ベトナム国立農業大学との特定技能受入契約の締結、県内企業への就職斡旋等の実施 (県民のみなさんへの就職斡旋・交流も)
- ベトナム人の生活実態調査
 ベトナム人に対する面接調査、専門家を交えた分析、政策提言の実施
- ワンストップの相談窓口「パーソナルステーション」の設置・運営
 就職支援、日本語支援、福祉行政へのつなぎ、子育て相談、起業相談等の実施

現状と課題

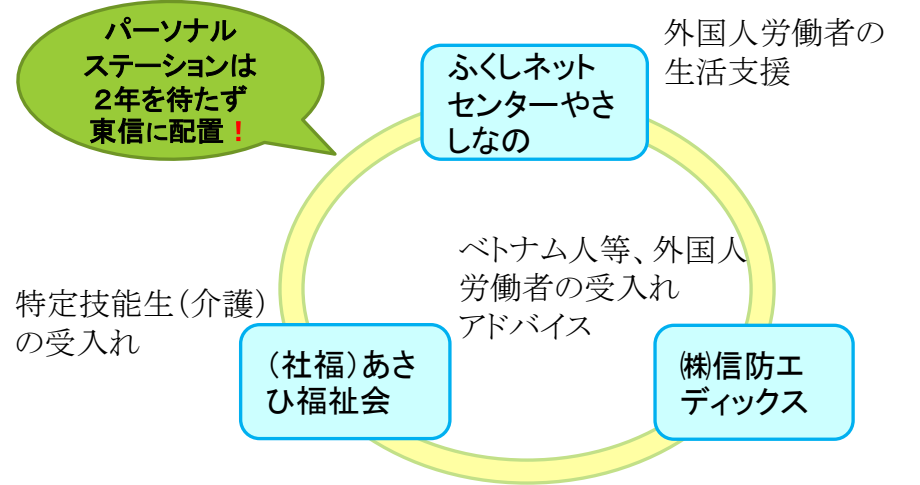
- ・外国人労働者の低賃金
- ・労働環境改善、地域での暮らし、人権の取組の不十分さ
- ・長野県内の特定技能生の少なさ



目指す社会変革

- ・外国人の労働環境、暮らしの向上
- ・人材としての外国人労働者の活躍と地域の担い手としての役割の定着
- ・多文化共生

コンソーシアム



<コレクティブインパクト>
 社会的課題である外国人労働者の生活支援と生活基盤としての就労の確保を合わせて行うため、生活支援団体と就労先の団体が協働する。また、長野県ベトナム交流協会等との連携によりベトナム本国との調整を行う。

くらし・交流の場づくりの駅
 モデル事業化⇒全県に～全国へ



やさしい信濃

選ばれる国日本へ、ただ働きに来るだけでなく、住み・くらしたくなる信州しなのへ



やさしい信濃

コンソーシアム体制と役割分担

コンソーシアム

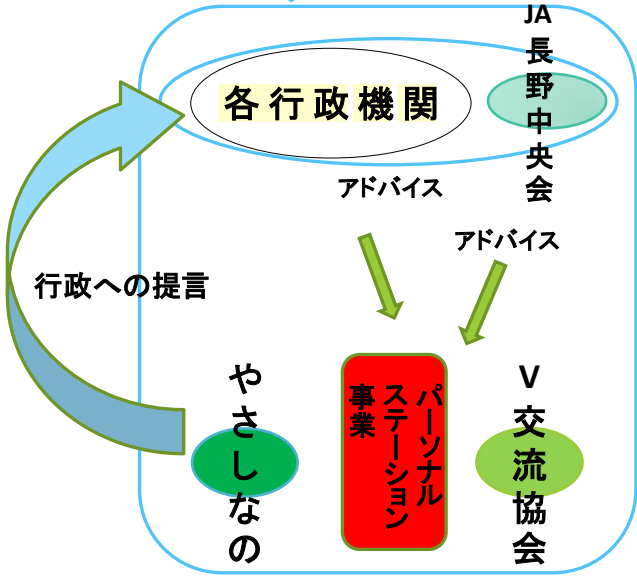
V 国立農大

コンソーシアムの
特徴

- JA長野中央会
- 長野県連合婦人会
- 長野平青学園
- 長野県ベトナム交流協会
- NPO法人 やさしなの
- (社福) あさひ福祉社会
- (株)信防エディックス
- (株)小宮山
- 長野南青年会議所

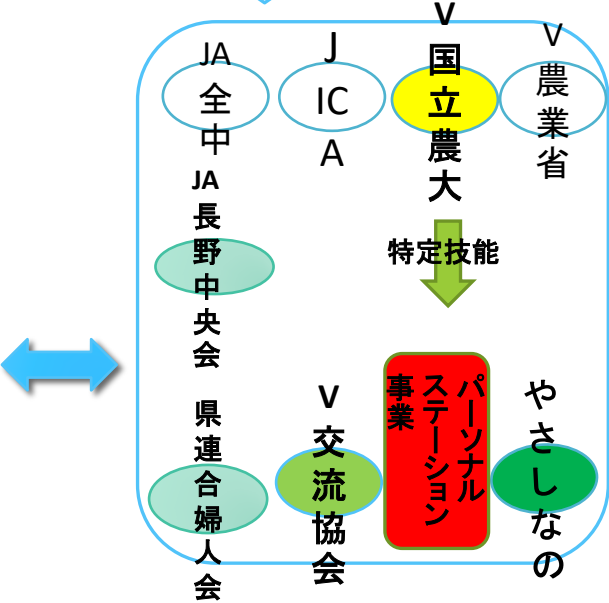
活動内容

ベトナム人の生活実態調査



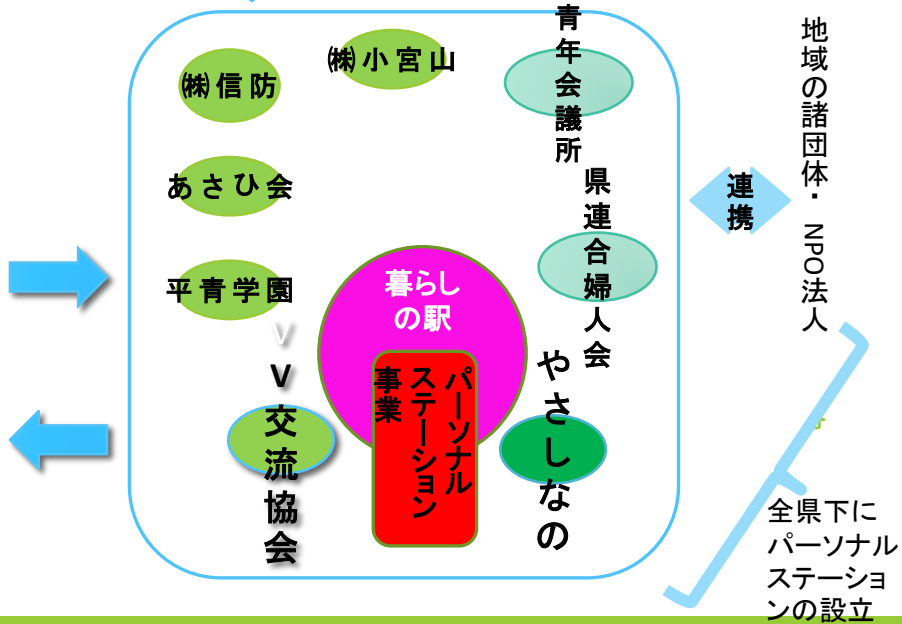
活動内容

農業・特定技能の受入 (国家プロジェクト)



活動内容

ワンストップパーソナルステーション



コンソーシアム団体



コンソーシアム幹事団体



コンソーシアム協力団体



行政・公的機関・団体

2 ヘルsee佐久プロジェクト

コンソーシアム名: ヘルsee佐久イニシアティブ・コンソーシアム

(幹事団体: 一般社団法人佐久産業支援センター)
Saku Open Innovation Center

事業概要

〔対象地域〕 佐久地域

〔事業の概要〕 これまでの健康づくりの取組においてボトルネックとなっていた「健康無関心層」を重点対象に行動変容を促し、地域の健康増進を図る。

○健康アンケートに基づく分析、仮説検証

アンケート調査で不健康状態を実感にしている人を抽出し、行動変容を阻害する要因を洗い出すとともに、その人たちが実施したいと考える健康づくりの取組(仮説)を提示

○デジタルシステムの構築と実証実験

ウェアラブル端末・スマートフォン・クラウドから成るシステムの構築と佐久市内企業の従業員及びその家族を対象にした実証実験の推進

○実証実験結果の検証

○市民各層への展開

現状と課題

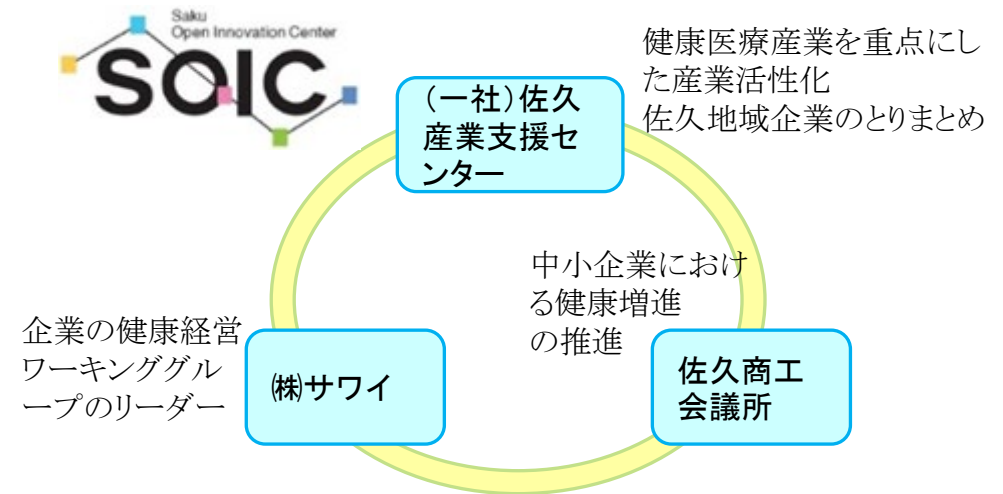
- ・健康寿命伸長の必要性
- ・佐久市民の特定健診受診率等の低さ
- ・ボトルネックとしての「健康無関心層」の存在



目指す社会変革

- ・健康無関心層の行動変容
- ・企業経営者の意識改革
- ・市民各層への波及
- ・世界最高健康都市の実現

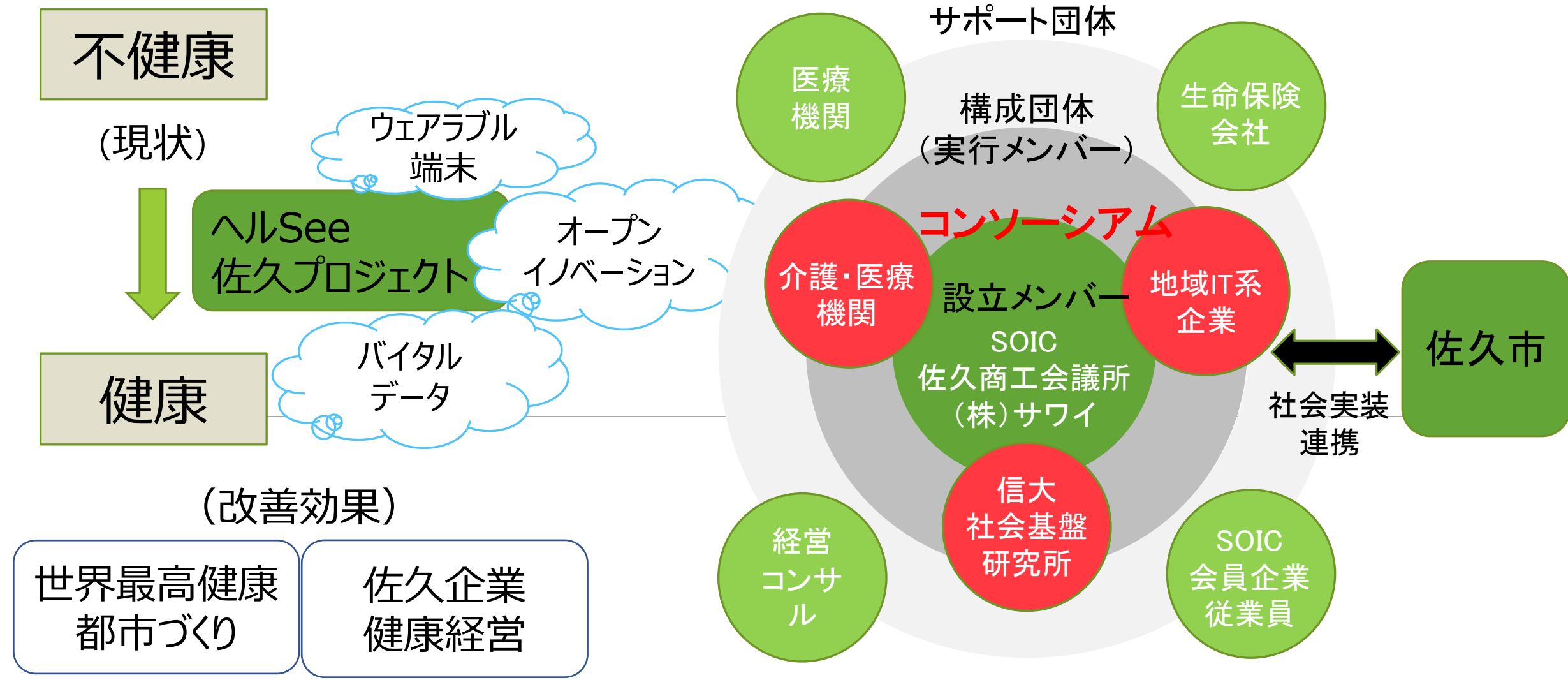
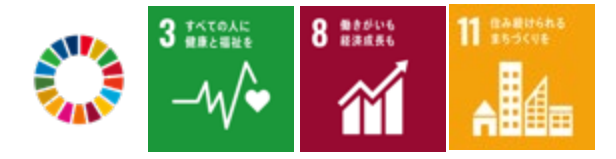
コンソーシアム設立メンバー



<コレクティブインパクト>

佐久地域の健康医療産業の推進事務局である佐久産業支援センターと企業グループ、商工会議所が企業従業員及び家族の健康づくりに取り組むとともに、行政及び医療機関と協力して市民全体の健康増進へと波及させる。

将来に向けた連携体制



3 長野県の女性の未来をつくる“暮らすroom's”プロジェクト

コンソーシアム名: 長野県の女性の未来をつくる“暮らすroom's”プロジェクト (幹事団体: 一般社団法人South-Heart)

事業概要

〔対象地域〕 長野県内全域

〔事業の概要〕 女性のライフステージやキャリアステージに沿った支援を実施 ⇒4年後には、ウィメンズアカデミー(仮称)を設置(※)

○「普段着」で相談できる“暮らすroom's”を全県に展開

女性が日頃訪れるカフェ、美容院、エステサロン、雑貨店などを“暮らすroom's”として全県に展開し、その場所が「入り口」となって対話や気づきの機会をつくる。

○実践的な学びの場を提供

女性のニーズに対応し、起業、キャリアアップ、子育て、介護などのセミナーを開催。

○女性が抱える課題・困難を、つながりの中で支援するコミュニティづくり

女性がつながり合い、学びの継続や行動を互いに支援するコミュニティをつくる。

※ウィメンズアカデミーは、女性のためのシンクタンク機能、女性人材バンク、サポートコミュニティを運営

現状と課題

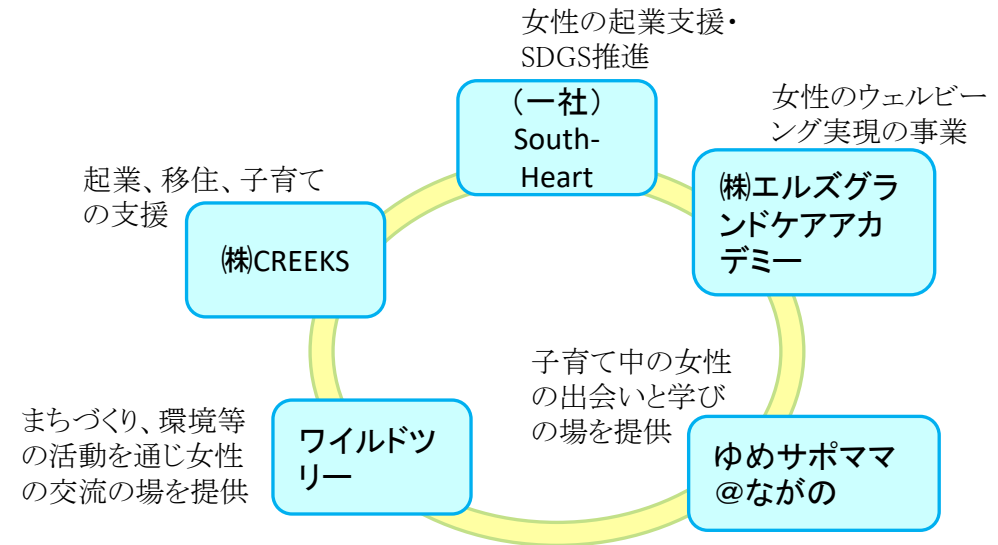
自分らしく生きることや働くことに女性が困難を感じている。



目指す社会変革

多様なライフステージやキャリアステージに応じ、女性が自分らしく「自立」して生きていける社会を実現する。

コンソーシアム



<コレクティブインパクト>

県内各地に所在し、異なる分野で女性支援の活動実績を有する5団体が、幅広いネットワークを活かして事業を推進する。

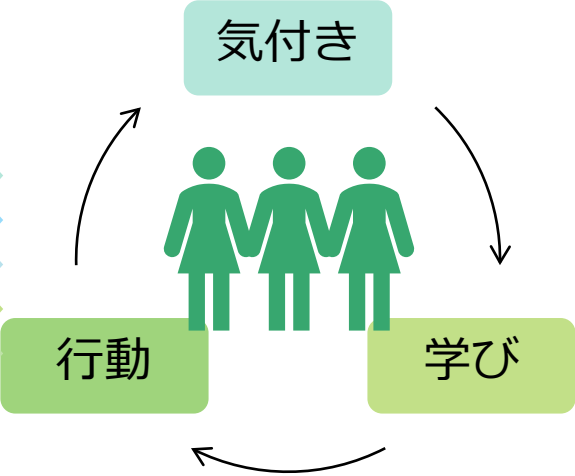
コンソーシアムの活動と外部連携により起きるサイクル

①暮らしを考える + ②学びの提供 + ③コミュニティづくり

3つで生まれる

コンソーシアム連携で実現

- 一般社団法人 South-Heart SDGs
- ゆめサボママ @ながの 子育て中の女性支援
- ワイルド ツリー まちづくり・環境
- 株式会社 CREEKS 起業支援
- 株式会社 エルズグラウンド ケアアカデミー 心身の健康



- 外部連携
- 教育機関
 - 経済団体
 - 行政・自治体
 - NPO/ボランティア団体
 - 金融機関
 - 各種支援機関
 - 士業・専門家

- ・どこからでも入れる 多様な“暮らすroom's”
- ・ステージに合わせていつでも参加可能
- ・自分自身で選択して、自立・成長できる

結果

自立した女性が
増える社会

4 地域循環再生経済を支える「みみず」的人材の育成事業

コンソーシアム名: いいコネW活性化協議会

(幹事団体: 株式会社みみずや)

事業概要

「みみず」的人材 …社会や自然の中で地道に生活しながら、ブレない自己存在感を持ち、様々な社会課題解決の「つなぎ役」となる人材

- [対象地域] 飯綱町を中心にした周辺市町村
- [事業の概要] 生き方・働き方に悩む若者や学校とは異なる学びの場を選択する子どもを重点ターゲットに 能力開発や生きがいつくりを支援
- 自然との対話と地域循環に関わるフィールドワーク
空き家改修や遊休農地活用、森林や畑での野外活動
 - 地域の埋もれたリソースを発掘し価値を再定義するプロジェクト
食べ残しの堆肥化、地産給食、地域産木材による空き家改修DIY、エコハウス造り
 - IT/ファシリテーションなどのスキルアップ
“表現手段”としての基礎的スキルの獲得(自分の強みを生かし社会の「つなぎ役」に)
 - 地域での創業や副業に関わる対話型伴走支援
経営視点の獲得、拡大につながる座談会の開催、オンライン相談窓口、伴走支援

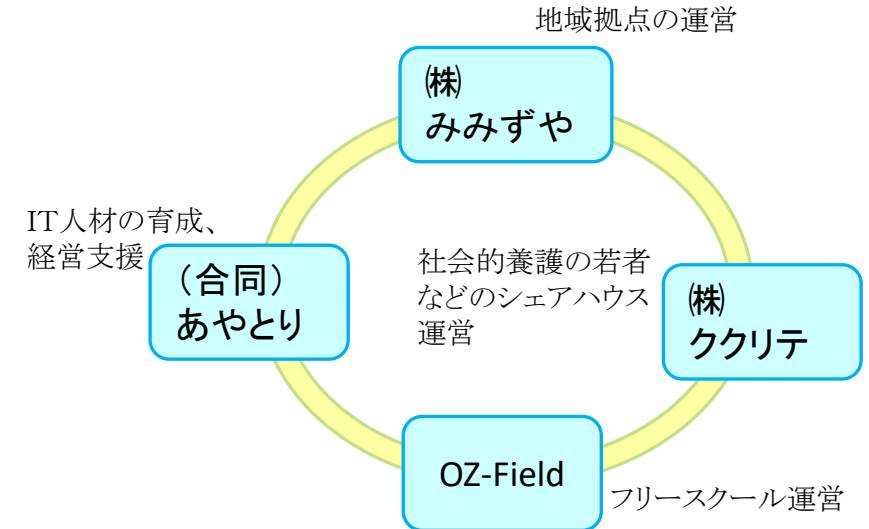
現状と課題

- ・縦割りや分断から生じる、困難を抱える子ども・若者に対する“支援の隙間”
- ・活用されていない地域資源の存在

目指す社会変革

- ・特定の地域課題を軸に、共助や相互作用を活かせる他分野とのつながりを創出
- ・子ども・若者と共に地域の人たちも参加し、他地域の人たちとも交流
- ・これらを通じた問題解決と地域活性化

コンソーシアム



<コレクティブインパクト>

「いづなコネクトWEST」(廃校を活用した地域の拠点)で活動する異分野の4団体が、それぞれの資源と県外に及ぶネットワークを活かし、子ども・若者に多様なロールモデルを提供しながら、一貫・継続して事業を推進する。

課題解決モデル

優先的に解決すべき社会の諸課題

- 社会的課題の解決を担う若者の能力開発支援
- 日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援
- 地域の働く場づくりの支援

特定の地域課題を軸に、共助や相互作用が期待できる他分野・課題とのつながりを創出することにより、縦割りや分断による“支援の隙間”を埋める解決モデルを提案

社会的課題の解決を担う若者の能力開発支援

- 地域の仕事の魅力低下により、地域社会の未来を担う若者が県外、都市部に出ていくケースが多数
- 自己キャリアや自己存在感に悩み、精神的疾患にいたってしまう若者への支援が不足

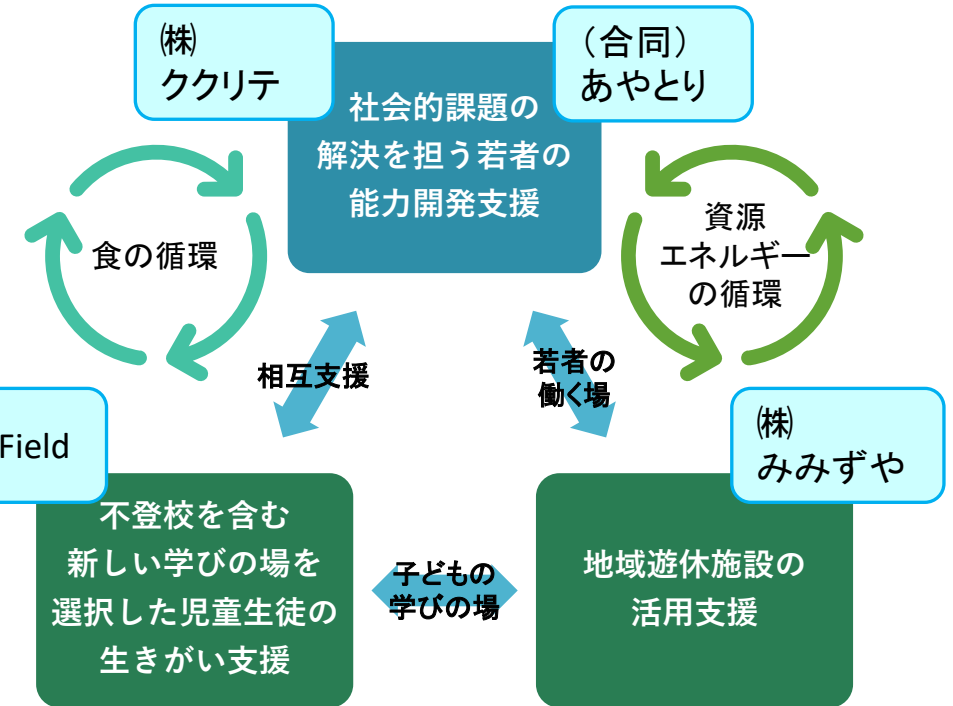
不登校を含む新しい学びの場を選択した児童生徒の生きがい支援

- 複雑な要因により生きづらさを抱える子どもたちへの社会的な受け皿が不足
- 新しいスタイルの学びの場の一つである、フリースクールなどへの理解、支援が不足

地域遊休施設の活用支援

- 少子化、人口減少による廃校や空き家が増加
- 担い手不足による農地や森林、生産施設の荒廃
- 遊休施設や跡地活用における創業や居住支援が不足

縦割り・分断による“支援の隙間”



共助・相互作用による解決モデル

5 誰もが行き活き！里山モビリティ&アクティビティ革命

コンソーシアム名：ふじみMaaS協議会

（幹事団体：富士見高原リゾート開発株式会社）

事業概要

〔対象地域〕 諏訪郡富士見町

〔事業の概要〕 移動手段と高齢者等の居場所を組み合わせ、地形や集落密度の低さといった中山間地域の課題を克服するためのモデルを構築

○安心・楽しみ・生きがいになる居場所づくり(生きやすい)

見守り機能、仕事の機会創出、出張販売による買い物の楽しみ等を有する居場所を町内で拡大するとともに、温泉・観光施設等と結ぶ。

○パーソナルモビリティや町内の空き車両を活用したモビリティ運用システム開発(行きやすい)

地域の空き車両とのマッチングや運転手管理、運行管理等を行える運行システムの開発

○ICT技術を活用した居場所+移動手段の一体型サービス(ふじみMaaS)の事業化検証
危険回避のための運転支援システムを搭載した安全なパーソナルモビリティの開発も

現状と課題

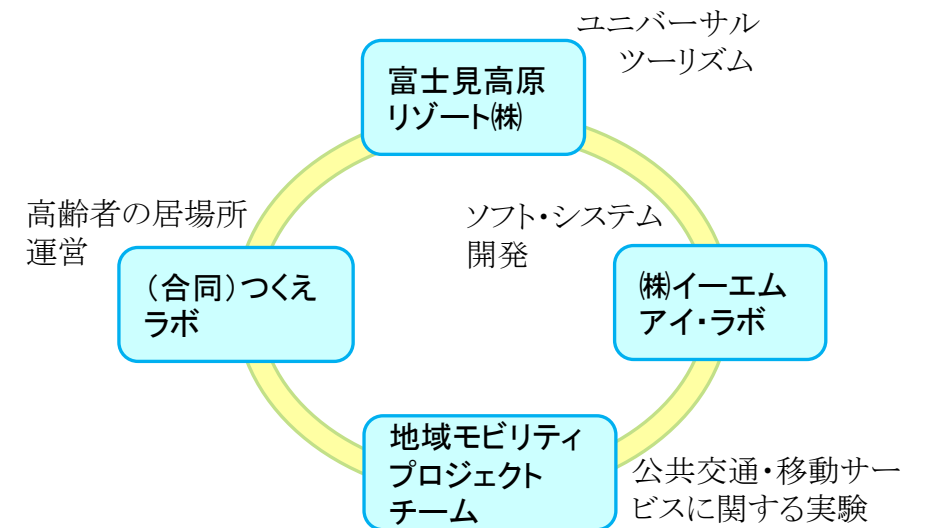
中山間地域では、公共交通機関等の移動手段が確保されておらず、標高差の大きい地理的条件も重なり、車や家族による送迎がないと、高齢者等の交通弱者が買い物や通院ができない。



目指す社会変革

- ・安心、楽しみ、生きがいになる居場所がある。
- ・地域の空き車両とICT技術を組み合わせ、誰もが居場所や温泉、友達の家などに気軽に行くことができる。

コンソーシアム



<コレクティブインパクト>

ユニバーサルツーリズムの実績のある観光事業者、ICT技術を活用したモビリティ再構築に関する活動を行う事業者と地域の拠点となる居場所を運営する団体が、中山間地域における移動手段と居場所の確保に取り組む。

目指す社会変革・社会実験・コレクティブインパクトについて

「誰とでも楽しめる」ユニバーサルフィールド
(拠点内移動)

パーソナルモビリティを活用した
居場所内での移動サービス構築

居場所①
富士見
高原リゾート

ふもと 富士見高原リゾート
FUJIMI HIGASHI HIGASHI RESORT



マース
ふじみMaas

居場所×移動手段×ICT技術で
「誰もが行き活き！」

地域モビリティ
プロジェクトチーム
+
イーエムアイ・ラボ
(ICT技術)

「イベントバスで出掛けよう！」
(拠点間移動)
富士見高原リゾートマイクロバス



「GPSで車両の位置情報見える化！」
「カメラで見守り機能を追加！」
センサーでの車両管理、データベース構築・分析、
アプリ開発

「いろんな場所に行ける！」
(拠点間移動)

町内のあらゆる空き車両を活用した
物流を含む居場所間の
移動サービス構築

居場所②
つくえラボ

「今日もあそこへいけあ！」
(集落内移動)

パーソナルモビリティを活用した
居場所内での移動サービス構築

居場所③
観光地

KAGOME
野菜生活 Farm

Yatsugatake Shubari House
ハケ岳ルバースハウス

チョイスデリハケ岳
買い物代行サービスしらかば宅配 (商工会)

居場所④
集落A

居場所⑤
駅・役場・
学校・病院
など

居場所⑥
スーパー・
商店街など

6 社会的養護出身の若者サポートプロジェクト

コンソーシアム名: 社会的養護出身の若者自立支援プロジェクト

(幹事団体: 社会福祉法人長野県社会福祉協議会)

事業概要

〔対象地域〕 長野県内全域

〔事業の概要〕 児童養護施設や里親などの「社会的養護」を一定の年齢で離れた若者等に対し、なんでも相談、居住支援、就労支援等を実施

○若者自立なんでも相談「ホップ」

住まいや仕事、お金などの「なんでも相談」を開設し、他の支援機関と協働して支援

○居住支援「住まいる」

相談者の住まい確保の支援、社協や施設による入居時の保証サービスの拡充を図る。

○就労支援「ジャンプ」

居住支援付き雇用や資格取得支援など企業の支援メニュー促進、「若者自立支援プロジェクト基金(仮称)」の設立

○どこでも実家77

児童養護施設と市町村社協等の連携を図り、「実家」のような機能を全市町村で実現

現状と課題

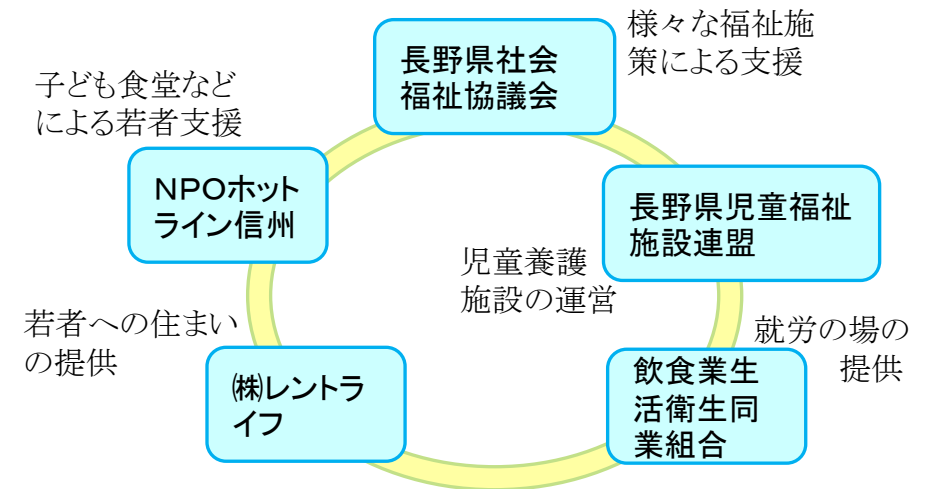
社会的養護出身者は「自立を阻む課題」が集中する中で生きることを強いられる。(大人への不信、住まい・仕事・身寄り・お金・孤立などの困難、制度の縦割りの弊害など)



目指す社会変革

- ・入居保証人の慣習を長野から変える。
- ・若者の自立支援を旗印に制度の縦割りを超え、相乗効果を生む。
- ・子ども支援、若者支援に関し地域の見守り力を高める。

コンソーシアム



<コレクティブインパクト>

困難を有する若者の支援について豊富な実績・体制を有する機関・団体と、住居及び仕事という支援の重要課題に応える団体が協働して、独自の取組を進める。

コンソーシアム体制と役割分担

コンソーシアム

就労、居住、福祉支援等
他分野の連携体制

運営委員会
(意思決定)

県社協

ホットライン
信州

児童福祉
施設連盟

レント
ライフ

飲食組合

(参画予定)

活動内容 若者自立なんでも相談「ホップ」

- 若者からのお金、仕事、住まい、保証人等の相談をなんでも受止める相談機能
- 児童養護施設の在園生、卒園生支援・里親支援団体との連携
- 支援のため若者サポートステーションなど多機関と連携、調整
- 住まい・就労など、個別ケースへの協力、協力企業の紹介

活動内容 居住支援「住まいる」

- 保証人問題のニーズ調査、支援の拡充(施設、社協)
- 居住支援法人等との連携強化
- 機関保証やサブリースの拡充等で、多様な入居希望者に対応
- 住み込み雇用、社員寮の活用、共同職員寮の検討等
- 緊急宿泊施設を確保、北信を圏域として寄添い支援を実施

活動内容 就労支援「ジャンプ」

- 就労支援機関との連携
- プチバイトなど就労体験先の開拓
- 企業向けセミナーの開催
- 「若者自立支援プロジェクト基金(仮)」づくり
- 就労支援イベントの受け入れ
- プチバイト等の会員企業の登録促進
- 住まい付き雇用、資格取得支援など支援メニューの開発、普及
- 子ども支援プロジェクト(アサヒエージェンシー)促進

活動内容 どこでも実家77

- 市町村社協や社会福祉法人の協力を得て、社会的養護出身者のための実家的な機能(相談機能、サロン機能、物品預かり機能、保証人機能等)を全ての市町村で実現する。
- フードバンク活動、子ども食堂支援と若者自立支援の3点セットで推進していく。
- 各市町村で、まいさぼへの協力企業を増やしていく

7 バイオ炭活用による三方よし(生産者よし、消費者よし、企業よし)プロジェクト

コンソーシアム名: バイオ炭活用による三方よし(生産者よし、消費者よし、企業よし)プロジェクト (幹事団体: 長野県農業協同組合中央会)

事業概要

〔対象地域〕 長野県内全域

〔事業の概要〕 剪定枝等の農業残渣を燻炭化し農地等の土づくりに役立てるとともに、その土壌からできた安全・安心な農産物を消費者に提供

○農業残渣の燻炭化(バイオ炭施用)による農地・草地土壌での炭素貯留の拡大と土壌改良・土づくり

○環境にやさしい土壌からできた安全・安心な農産物の消費者への提供

○農地・草地土壌での炭素貯留を活用した「J-クレジット」との連携による農家の副収入確保

○「J-クレジット」と環境にやさしい農産物のブランド化へのスポンサーという形で、企業にCSRの取組の場を提供することによる持続可能な仕組みづくり

※J-クレジット: 温室効果ガスの排出削減量や吸収量をクレジットとして国が認証する制度

現状と課題

- ・肥料などの生産資材の他国依存と食料自給率の低さ
- ・地球環境の変化に対する国民の意識の低さ。(温室効果ガスの排出に配慮した農産物を価格に関係なく買うとする消費者は7%)



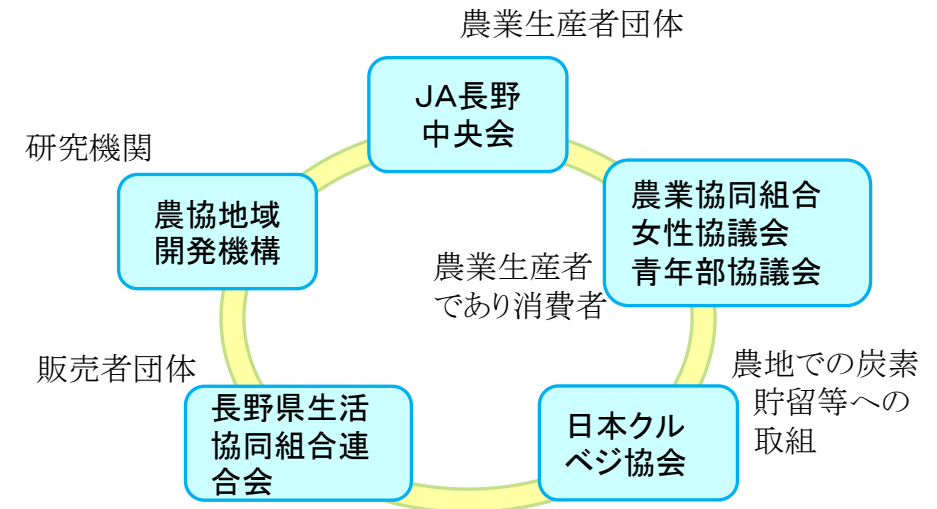
目指す社会変革

- ・残渣の処理から利用への転換により、地域の振興や農産物の付加価値向上
- ・一次産業を地域・地球環境のためにみんなで支える。環境を守るためには手間とコストがかかるという意識に変える。

<コレクティブインパクト>

生産者から消費者までをつなぐ各分野の団体がバイオ炭の製造・活用、環境にやさしい安全・安心な農産物の提供、企業との連携などに取り組む。

コンソーシアム(申請時)



目指す社会変革・社会実験・コレクティブインパクトについて

未利用バイオマス活用によるCO2削減と環境にやさしい農産物の有利販売
～小さなことからコツコツと...私にもできる温暖化対策～

(女性協議会、青年部協議会、JA、
日本クルベジ協会、関西産業)

『生産者よし、消費者よし、企業よし』
の三方よし環境保護の地域循環 実験

(日本クルベジ協会、JA)

残渣の燻炭化・活用

【農家】燻炭化(籾殻、剪定枝、
廃耕地)・分析とバイオ炭活
用農産物栽培・出荷

環境保全
型農業の
普及

CSRの取組・ESG投資

地域環境に関心のある
企業

認証申請

認証・シール交付

ESG投資
(企業名入シール作成+財団運営費)

長野県農林研究財団
(認定シール作成・配布)

バイオ炭による温暖化ガス貯留
農産物の栽培・出荷

代金回収

地域環境に配慮した農
産物栽培による
環境配慮満足+所得増

地域環境に配慮し
た農産物への協力
によるCSRの達成

バイオ炭活用農地
ブランドシール付きの農産物
(環境配慮協力金上乗せ価格)

A・コープ、直売所、生協、
CGC加盟店ほか
シール付農産物専用コーナーの設置

(日本クルベジ協会、JA)

将来的に

地域環境に配
慮した農産物
販売による
CSRの達成、
商品の差別化

農産物購入

協力金上乗せ代金

燻炭の活用

J-クレジット取引への
参加

(日本クルベジ協会)

(生協連、日本クルベジ協会)

地域環境に関心のある
消費者

地域環境に配慮し
た農産物購入協力
による満足感

環境への配慮・保護協力

CGC(Co-operative Grocer Chain)
全国に展開するスーパーマー
ケットの協業組織。